

北アルプス日本海広域観光連携会議 第3回広域観光連携専門委員会

平成 27 年 12 月 21 日
糸魚川市役所 202 会議室

1 開会

2 報告

丹南広域組合視察について	資料 1
住民見学会の開催について	資料 2
旅行商品の販売状況について	別 添

3 審議事項

鉄道見所マップの作成について	資料 3
観光キャンペーンの実施について	
平成 28 年度事業計画、予算（案）について	資料 4

今後のスケジュールについて

開業後 1 周年記念イベント 3 月 20 日（日）	資料 5
----------------------------	------

その他

4 その他

福井県丹南広域組合議会議員視察研修

日 時 平成 27 年 11 月 12 日 (木)

内 容 広域観光推進の取組について

訪問者 福井県丹南広域組合議会議員 17 名 事務局 2 名

福井県丹南広域組合

鯖江市、越前町、池田町、南越前町、越前町の 5 市町で構成。平成 34 年度の北陸新幹線敦賀延伸により南越駅（仮称）の開業を控えている。



住民見学会「北陸新幹線糸魚川駅と荒波あんこう祭り見学ツアー」

1 実施内容

別紙チラシのとおり

行程管理は、受託者である「三愛旅行社」が行います。

各バスには、ジオパーク観光ガイドが途中乗車します。

2 構成団体様へのお願い

住民への周知

- ・ 広報、HP 掲載、地元マスコミへの情報提供
- ・ チラシの配布

バスの添乗業務

- ・ 参加者の受付（参加費徴収、領収書発行、バッチ渡し）
- ・ 車内アナウンス
- ・ 進行管理
- ・ 人数確認 等

職員の協力依頼は、別途文書により行うこととし、詳しい行程表や参加者名簿などを合わせて送付します。

3 参加者への通知

1月13日の週に発送予定（申込締切1月12日（火））

4 緊急連絡

降雪等によりツアー実施が不可能となった場合は、別紙緊急連絡網により対応する。



北アルプス日本海広域観光連携会議主催事業

北陸新幹線糸魚川駅と 荒波あんこう祭り 見学ツアー

北陸新幹線糸魚川駅と荒波あんこう祭り見学ツアーを運行します。ぜひご参加ください！

◆運行日 … 平成 28 年 1 月 24 日 (日) ◆参加費 … 3,000 円

◆行 程 … 大町市発着コース【定員40名】

大町市役所前 8:00 発⇒糸魚川駅・ジオパル見学⇒荒波あんこう祭り見学・観光物産センター⇒昼食会場⇒玉翠園・谷村美術館⇒フォッサマグナミュージアム⇒大町市役所前 17:00 着

白馬村、小谷村発着コース【定員40名】

白馬村役場前 8:00 発⇒小谷村役場前 8:15 発⇒糸魚川駅・ジオパル見学⇒荒波あんこう祭り見学・観光物産センター⇒昼食会場（マリンドリーム能生）⇒玉翠園・谷村美術館⇒フォッサマグナミュージアム⇒小谷村役場 16:45 着⇒白馬村役場 17:00 着

上越市発着コース【定員23名】

上越市役所前 8:00 発⇒糸魚川駅・ジオパル見学⇒玉翠園・谷村美術館⇒荒波あんこう祭り見学・物産センター⇒昼食会場⇒フォッサマグナミュージアム⇒上越市役所前 16:45 着

朝日町発着コース【定員23名】

朝日町役場前 8:00 発⇒糸魚川駅・ジオパル見学⇒玉翠園・谷村美術館⇒荒波あんこう祭り見学・観光物産センター⇒昼食会場⇒フォッサマグナミュージアム⇒親不知ピアパーク⇒朝日町役場前 16:30 着



フォッサマグナ
ミュージアム



玉翠園
谷村美術館



荒波あんこう祭り



糸魚川駅・ジオパル



(株)三愛旅行社糸魚川本社 (糸魚川市大町 1-4-3)

電話 025-552-3445 FAX025-552-4167

受付日時：月～土 9:30～18:00

申込期限：平成 28 年 1 月 12 日 (火)



1/24(日)見学ツアー 運行中止時(緊急時)連絡網(案)

北アルプス日本海広域観光連携会議 事務局	
系魚川市役所 TEL 025-552-1511 交流観光課	状況確認
課長 渡辺 成剛 080-1337-5452	台風情報 報道等
係長 小竹 貴志 090-8740-9482	気象警報 気象庁発表
担当 満城真知子 090-2220-1085	国道148号(大所)雨量規制【大所20mm/h、連続80mm】 HP「新潟県交通規制情報」
土沢 修栄 080-5066-4844	国道8号(親不知)雨量規制【連続120mm】 HP「親不知雨量規制情報」
(株)三愛旅行社 TEL 025-552-3445	
社長 片山 佐一	
担当 片山 良博 090-4821-1533	



中止



各添乗員と連絡調整		
大町市(8:00発)	担当	携帯
白馬村(8:00発)	担当	携帯
小谷村(8:15発)	担当	携帯
上越市(8:00発)	担当	携帯
朝日町(8:00発)	担当	携帯
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者へ中止の周知 ・集金後なら参加費返戻(領収書引き換え) ・運転手への指示 		



降雪で出発不可・遅れ

事務局と連絡調整		
大町市(8:00発)	担当	携帯
白馬村(8:00発)	担当	携帯
小谷村(8:15発)	担当	携帯
上越市(8:00発)	担当	携帯
朝日町(8:00発)	担当	携帯
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者へ中止または遅れの周知 ・中止の場合は参加費返戻(領収書引き換え) ・運転手と協議 ・白馬村担当者は、出発時に小谷村担当者に連絡するなど密に連絡を取り合ってください 		

立ち寄り施設、関係者へ中止の連絡
三愛旅行社が連絡する。
昼食会場
立ち寄り施設
谷村美術館・玉翠園 025-552-9277
フォッサマグナミュージアム 025-553-1881
ジオステーション ジオパル 025-555-7344
ガイド

参考:系魚川市 災害時職員参集基準(交流観光課)

【第1 配備体制 警戒体制】 職員参集なし 情報収集 関係機関との連絡調整 警戒活動 応急措置準備

- ・震度4の地震発生時
- ・津波注意報発令時
- ・気象注意報が発令され、災害の発生が予想される時(平 = 40mm/1h、山 = 50mm/1h)
- ・高潮(波浪)警報が発令され、越波の恐れがある時
- ・河川の水位が氾濫注意水位に達した時(洪水注意報)

【第2 配備体制 警戒本部】 主査以上参集 情報収集 関係機関との連絡調整 現場調査・警戒活動 応急措置

- ・震度5弱の地震発生時
- ・津波警報発令時
- ・気象警報が発令され、災害が発生する恐れが高い時(平 = 60mm/1h、山 = 80mm/1h)
- ・越波が発生した時
- ・河川の水位が避難判断水位に達した時(洪水警報)

【第3 配備体制 災害対策本部】 全職員が直ちに所定の配備につき、災害応急対策に従事する

- ・震度5強以上の地震発生時
- ・大津波警報発令時
- ・風水害により、甚大な局地被害又は市全域に渡る災害が発生した時
- ・河川の水位が氾濫危険水位に達した時(洪水警報)

～ 大手鉄道雑誌への掲載と鉄道グッズ作成について～

H27.12.21

1 目標

- ・大系線の利用増につなげる。
- ・大系線の認知度を向上させる。

2 内容

- (1) 大手鉄道雑誌『鉄道ジャーナル(月刊)』への大系線の記事掲載(約60万円)
鉄道に関心のある人をターゲットにすることで、乗り鉄、撮り鉄などの乗車にも繋げる(単発ではなく、複数回の掲載を行う)。

- ・主な鉄道雑誌：鉄道ジャーナル(発行部数13万部)、鉄道ファン(発行部数21万部)、レイルマガジン(4万5千部)、鉄道ダイヤ情報6万部、とれいん(4.5万部)
- ・掲載内容：大系線の写真(車窓、駅舎、車両や歴史が感じられる写真等)、駅員のインタビュー、大系線沿線(非電化区間(糸魚川～南小谷))の観光情報、(2)の鉄道グッズの宣伝など
- ・発行日：6月21日(火)(取材は4月中旬～5月初旬)
取材前に事前打合せを行う予定

定期的に掲載し、最終的に総集編冊子のようなものを作る予定

- (2) 大系線グッズの作成について(約86万円)

子供～大人まで惹きつけられるような鉄道グッズ(=大系線フィギュアストラップ。別紙1参照)を作成し、期間限定のプレゼントキャンペーンを実施する。キャンペーンには、他の企画・取組も合わせて行う(車掌さんの車内アナウンスやJR西とのコラボなど)。

- ・個数：1,000個
- ・内容：キハ52のギミック(赤色)+駅名プレート9種(糸魚川～南小谷)+台紙(赤レンガ車庫を背景。後ろには大系線の歴史などを記載)。各駅名プレートの製作個数については、検討中。

【キャンペーン(案)】

「大系線に乗ろう！」期間限定鉄道グッズプレゼントキャンペーン(仮)

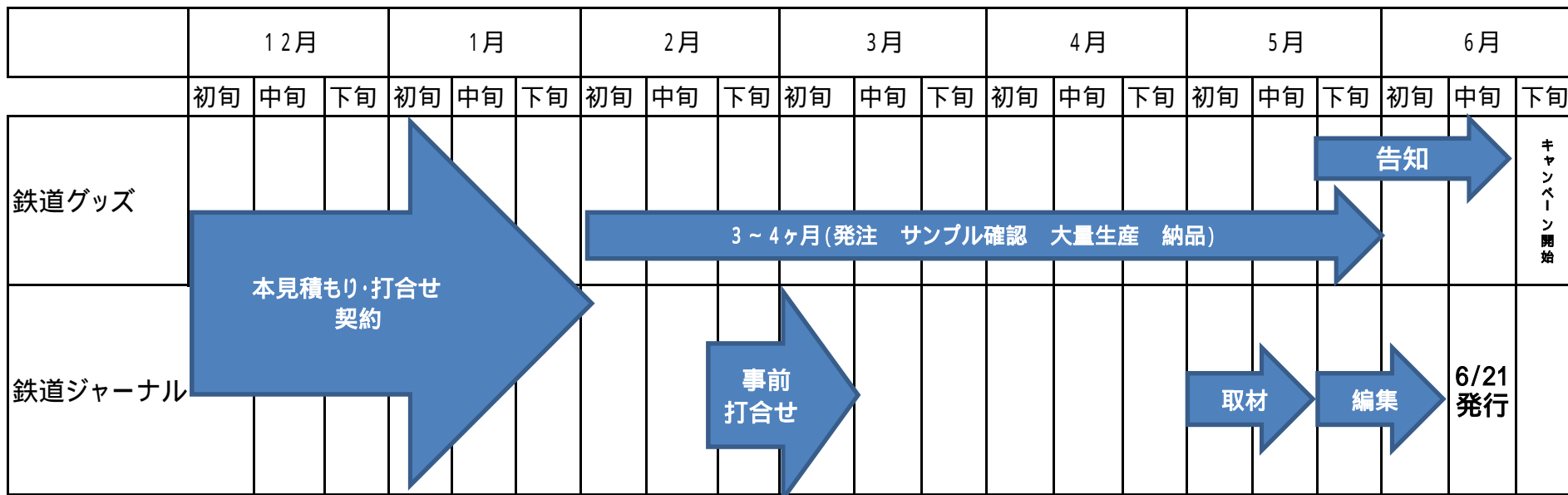
- ・期間(7月～8月末頃)

糸魚川駅、平岩駅、南小谷駅(有人、グッズ引き換え駅)にスタンプ台紙を設置。台紙を持ってどちらかの駅から乗車してもらう。

車両内に設置してあるスタンプを台紙に押してもらい、グッズと引き換える。

3 今後のスケジュール

別紙2のとおり



<グッズ製作の流れ>
 発注~サンプル到着(2週間) - 1 修正なし 大量生産(2ヶ月) 納品(1週間)..... <1回も修正なしで最短約3ヶ月>
 修正1回につきプラス2週間

平成 2 8 年度 収入支出予算(案)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	説 明
1. 負担金	7,689,000	
	5,000,000	糸魚川市
	630,000	上越市
	890,000	大町市
	275,000	白馬村
	94,000	小谷村
	400,000	朝日町
	400,000	新潟県
2. 補助金	0	
3. 雑収入	200,000	総会交流会費、預金利息
4. 繰越金	1,372,000	前年度繰越金
計	9,261,000	

【支出の部】

科 目	予算額	説 明
1. 事業費	8,461,000	
誘客宣伝	5,300,000	V J 地方連携事業、旅行商品の開発・販売
二次交通	2,861,000	二次交通の整備拡充
ホームページ運営費	300,000	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	800,000	
会議費	300,000	総会、交流会
事務委託費	450,000	糸魚川市観光協会
事務通信費	50,000	消耗品、事務通信費等
計	9,261,000	

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成28年度事業計画書（案）

(単位：千円)

区分	実施時期	事業名	頁	事業費	H28予算額	
広域観光PR	4月	誘客宣伝	広域旅行商品の販売促進（継続）	1P	1,000	5,300
	5月		ビジット・ジャパン地方連携事業（新規）	2-3P	4,000	
	5月		観光キャンペーンの実施（継続）	4P	300	
	通年	HP運営	ホームページ運営管理（継続）	5P	300	300
				5,600	5,600	
二次交通	4月-9月	二次交通	駅レンタカー乗捨無料事業（継続）	6-7P	1,200	2,861
	1月		冬季シャトルバス運行事業（継続）	8P	500	
	通年		鉄道魅力発信事業（継続）	9P	1,161	
	通年		北陸新幹線糸魚川駅利用促進戦略会議（継続）	10P	0	
				2,861	2,861	

誘客宣伝

広域旅行商品の販売促進（継続）

1 趣旨

新しい観光エリアとしての魅力を伝えるべく、広域観光商品を販売する。

2 事業計画（案）

旅行会社への平成28・29年度商品企画の開発と売り込み

【現在販売中又は販売が決定しているもの】

事業者	(株)はとバス(WEB限定商品)
タイトル	糸魚川荒波あんこう祭りと北陸新幹線&ローカル電車乗り比べ
内容	朝日なないろKAN・あいの風とやま鉄道泊駅(朝日町)＝糸魚川駅ジオパル・糸魚川温泉・あんこう祭り会場(糸魚川市)＝南小谷駅
出発日	1月23日
事業者	(株)阪急交通社
タイトル	北陸新幹線で一直線！ 誰も知らない!!糸魚川駅を訪ねる3日間
内容	フォッサマグナミュージアム・プチ街歩き・加賀の井酒造・糸魚川温泉・笹倉温泉(糸魚川市)
出発日	1月24日～4月19日 計26回
事業者	(株)はとバス
タイトル	もう乗った!! 祝1周年北陸新幹線ちよい乗り体験と秘境グルメの宝庫！日本海大満喫
内容	坂口記念館(上越市)＝糸魚川駅ジオパル・糸魚川温泉・親不知コミュニティロード・市振街歩き・親不知ピアパーク・加賀の井酒造・玉翠園・谷村美術館(糸魚川市)
出発日	2月27日・3月5日・3月11日・3月18日・3月21日・3月26日

3 目標

認知度向上
来訪意欲の創出

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	商品企画の開発、売込み											

5 事業費（概算）

1,000,000 円 （ツアー実施協賛金として）

誘客宣伝

ビジット・ジャパン地方連携事業（新規）

1 趣旨

増加するインバウンド客に対応するべく、現在訪日旅行客数（新潟県）として最も多い台湾をターゲットに当エリアの共通観光資源である自転車を活用した誘客施策に取り組む。

※北陸信越運輸局連携事業

2 事業計画（案）

- (1) 6市町村の情報を一元化したプロモーション用パンフ（日・英・繁体・簡体）の製作。（6,000部）
- (2) 訪日ユーザー用サイクルロードマップ（日・英・繁体・簡体）製作。（20,000部）
- (3) 3泊4日でメディア招請（5社5名を想定）を行い、観光ルートを紹介する。

【行程案】 ※平成28年9月～10月を想定

- 1日目：台湾桃園国際空港⇒富山きときと空港⇒富山駅⇒（北陸新幹線）⇒糸魚川駅⇒大町仁科三湖・黒部ダム⇒白馬村（泊）
- 2日目：白馬村サイクリングコース・小谷村ヒルクライムコース⇒高田城・上越水族博物館⇒上越（泊）
- 3日目：久比岐自転車道⇒かにや横丁⇒なないろKAN・ひすい海岸⇒糸魚川（泊）
- 4日目：糸魚川駅⇒（北陸新幹線）⇒富山駅⇒富山きときと空港⇒台湾桃園国際空港

【招請案】

一般雑誌社

- 時時週刊・・・発行部数約6万部。購読者層25～29歳。国内外の芸能、グルメ、旅行、ファッション等を幅広く取り上げる週刊誌。
- 壹週刊・・・発行部数約12万部。国内外の芸能、グルメ、旅行、ファッション等を幅広く取り上げる最も購読率が高い雑誌。
- 康健・・・発行部数約9万部。健康、ライフスタイルをテーマにした生活情報誌。購読者層は家族を持つ30代。

旅行雑誌社

- MOOK TRAVELER・・・発行部数約8万部。毎月発行の旅行専門誌。海外及び国内旅行を紹介。
- 行遍天下・・・台湾版と国際版を一冊にまとめて発行。現在、旅行関連シリーズは既に500種類以上を発行。

- (4) 現地プロモーションを実施し旅行社を直接訪問し商品売り込む。（平成28年11月）
- (5) 現地誌Taipei Walkerへの出稿。（平成29年1月）

3 目標

エリアの認知度向上

新たな観光ルートの構築

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
パンフ、マップの製作		○										
メディア招請						○	○					
旅行会社等セールスコール								○				○
Taipei Walker出稿										○		

5 事業費（概算） 4,790,000 円 （減額の可能性あり→4,000,000円で）

<内訳>

- ・メディア招請費（宿泊費・食事費・移動費） 650,000円
- ・セールスコール費（宿泊費）20,000円×2泊×6名=240,000円
- ・パンフレット・マップ製作費 3,900,000円

誘客宣伝

観光キャンペーンの実施（継続）

1 趣旨

北陸新幹線の開業によりこれまで以上に関東圏からの誘客を促進するため、集客力のある大規模商業施設において情報発信することで認知度の向上と誘客の促進を図る。

2 事業計画（案）

【開催概要】

- | | |
|------|---|
| 1 日時 | 平成28年4月～10月の間 土・日2日間
※グリーンシーズン、秋シーズンの誘客促進につながる時期を選定 |
| 2 会場 | イオンレイクタウンkazeモール(埼玉県越谷市レイクタウン3-1-1)
電話048-930-7000 |
| 3 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光大使、越後上越おもてなし武将隊による観光PR ・観光ポスター掲出、観光パンフレットの配布 ・特産品が当たるアンケート抽選会 ・ゆるキャラ撮影会 ・その他来場が見込まれるイベント(ヒスイ探し体験等) |

3 目標

魅力情報の発信

認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画	→											
実施	→											

5 事業費（概算）

300,000 円

HP運営

ホームページ運営管理（継続）

1 趣旨

魅力あるコンテンツを発信することで連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組みを伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより露出度の向上を図る。

3 目標

認知度向上

連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	運営、管理											

5 事業費（概算）

300,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 240,000円
- ・情報更新料 5,000円/月×12カ月=60,000円

二次交通

駅レンタカー乗捨料金助成事業（継続）

1 趣旨

駅レンタカー利用者の乗捨料金を補助することで、エリア内の周遊を促す。

2 事業計画（案）

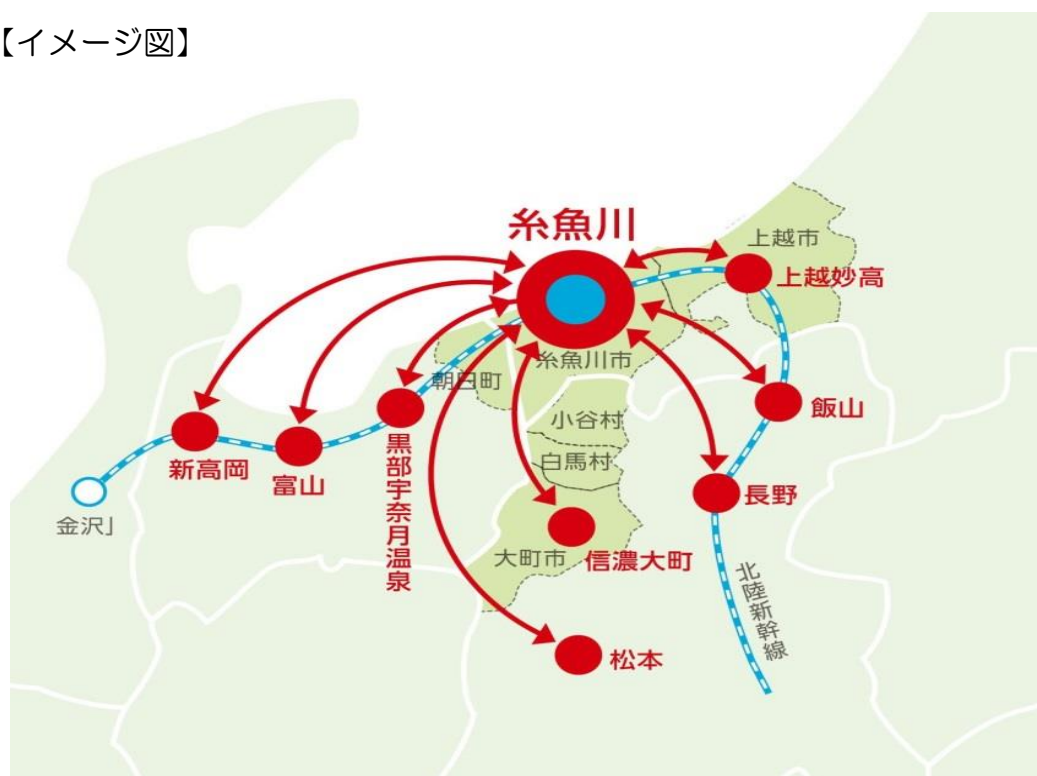
(1) レンタカー利用者の乗捨料金の補助

- ・糸魚川営業所を起点とする4,320円区間の乗捨利用に対し、糸魚川営業所を発地又は着地とすることを条件に乗捨料金の全額を補助する。
- ・JR西日本の協力を得て、大手旅行社や駅レンタカー会社へ情報提供、情報掲載依頼を行い、認知度と利用率の向上を図る。
- ・旅行社の上期商品に合わせ実施期間を4月～9月とし、必要に応じて下期（10月～12月）の販売も検討する。

(2) レンタカー利用者への施設優待券等の提供

- ・連携会議エリア内の観光施設の割引利用券（美術館、博物館、資料館等）を提供することで、観光流動を創出するとともにエリアの活性化を図る。

【イメージ図】





3 目標

観光流動の創出

糸魚川駅の利用促進

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	上期商品の販売（4月～9月） 											
			下期販売の検討 									

5 事業費（概算） 1,200,000 円

<内訳>

- ・乗捨料金補助 5,000円×200件＝1,000,000円
- ・チラシ製作費 200,000円

二次交通

冬季シャトルバス運行事業（継続）

1 趣旨

冬季、白馬バレーに滞在する主に外国人観光客をターゲットに、夕食を目的とした交通手段の提供と受入態勢を整えることでエリア内の観光流動を創出する。

2 事業計画（案）

- (1) H27年度の「シーフードシャトルバス」の継続実施。今年度の反省を踏まえ内容の磨き上げを行う。実施については、グローバル観光委員会（糸魚川青年会議所内）及び三愛旅行社（糸魚川市）。

行程
 白馬東急ホテル(16:30) === 八方バスセンター(16:35~16:45) === 糸魚川駅(17:50~21:00) === 八方バスセンター(22:00) === 白馬東急ホテル(22:10)
 ※マイクロバス27人乗り(基本) 糸魚川での滞在は約3時間



※平成27年度利用実績

【見直し項目】

- ・ 運営方法の確認
- ・ シャトルバスの運行経路、運行時間
- ・ 利用料金
- ・ 運行上のトラブル
- ・ 車内での過ごし方
- ・ 糸魚川市内での滞在時間と内容
- ・ 参加店舗及び提供メニュー

- (2) エssenシャルガイド掲載

3 目標

新たな観光ルートの構築
 交流人口の拡大

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							企画	→				
										運行	→	

5 事業費（概算）

500,000 円

二次交通

鉄道魅力発信事業（継続）

1 趣旨

在来線の魅力をアピールすることで大糸線、えちごトキめき鉄道、あいの風とやま鉄道の利用促進に繋げる。

2 事業計画（案）

- (1) 鉄道限定グッズの作成
 - ・マニアだけに限らず、一般家族連れにも分かりやすく直接的かつシンプルに乗車を動機付けることで訴求。
- (2) 鉄道誌への掲載
 - ・メジャーな鉄道雑誌に記事掲載してもらい、限定グッズ交換券を添付する。
 - ・記事になった原稿をもとに見所マップを作成する。
- (3) 限定グッズ入手者にアンケート調査を行い、今後の鉄道利用促進等に活用する。



掲載雑誌（案）

- 月刊(21日発売、発行月の前々月:1月発売が3月号)
- 発行部数 130,000部
- B5判変形(天地257mm、左右189mm)左無線綴
- ページ数 通常号 170ページ
- 構成 全誌面の約90パーセントがカラー誌面。
- 定価 通常 1,000円(税込)

<媒体の特徴>

読者の多くは毎号購入していただける固定読者で、鉄道ファンや旅行好きの方のほか、鉄道関連企業や交通関係の専門職の方から支持。趣味誌・専門誌として読者の年齢層は30～40歳をピークに小学生から中高年まで幅広く、

3 目標

利用者サービスの向上
交流人口の拡大

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				27年度取材記事掲載						29年度記事打合せ		
										29年度ストラップ製作		

5 事業費（概算）

1,161,000 円

<内訳>

- ・掲載費・編集費・取材費 385,000円
- ・フィギュアストラップ製作 775,980円

二次交通

北陸新幹線糸魚川駅利用促進戦略会議（継続）

1 趣旨

糸魚川駅から周辺市町村への広域的誘客を図るため、旅行商品の造成や観光地への誘導方法の検討により、北陸新幹線糸魚川駅の利用促進を図る

2 事業計画（案）

具体的な検討を図るため、各団体の担当者クラスにより構成する。

(1) 旅行商品の造成

- ・北陸新幹線糸魚川駅を玄関口とした広域観光旅行商品の造成
- ・旅行商品造成に向けた企画、支援
- ・北アルプス日本海周遊ルートの設定

(2) 観光地への誘導方法の検討

- ・旅行商品の造成と連携した、観光地へのアクセスの検討
- ・観光地へのアクセス（鉄道・バス・タクシー等）の魅力アップ対策の検討
- ・新幹線糸魚川駅利用者を対象とした割引特典等の検討

(3) その他

- ・その他、北陸新幹線糸魚川駅の利用促進に関すること

3 目標

二次交通の環境整備に向けた検討
周遊ルートの制度設計

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	会議開催、検討											

5 事業費（概算）

0 円

「北陸新幹線糸魚川駅開業1周年記念イベント」(案)

- 1 **開催日** 平成28年3月20日(日)
- 2 **実施主体** 北陸新幹線糸魚川駅開業記念事業実行委員会
- 3 **目的** 北陸新幹線開業1周年を記念して、地域住民のおもてなしの心の醸成、交流人口の拡大、糸魚川駅の利用促進を図る。
- 4 **時間** 10:00~17:15(予定)
- 5 **会場** 糸魚川駅アルプス口駅前広場 特設会場
- 6 **入込客数** イベント全体で10,000人予定

7 内容

ステージイベント(素案)

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| 10:00~10:10 | オープニング(実行委員長挨拶) |
| 10:10~10:30 | キハ車両出庫
太鼓演奏(翡翠太鼓、琴平太鼓など) |
| 10:30~12:00 | 吹奏楽演奏(小学生、中学生、高校生など) |
| 12:00~12:30 | ブースPRタイム |
| 12:30~13:30 | 公募ステージ |
| 13:30~14:30 | キハ車両入庫
(アイドルグループリハーサル) |
| 14:30~15:30 | ダンスパフォーマンス等 |
| 15:30~16:30 | 芸人パフォーマンス
(よしもと、大道芸人、和太鼓演奏など) |
| 16:30~17:15 | アイドルグループステージ |
| 17:15 | 終了 |

その他イベント

北陸新幹線糸魚川駅、えちごトキめき鉄道(株)、広域商店街、地区(中央区など)、観光協会(ジオパル内イベント)、商工会議所、糸魚川地酒の魅力発信実行委員会、なりわいネットワーク等の団体へ声掛けし、チラシ等の掲載・周知を行う中で、駅周辺の連携したイベントを開催する。

